**丸高歴史文化財団助成金応募申込書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申込日　令和　　年　　月　 　日

**一般財団法人丸高歴史文化財団　御中**

　　貴財団の助成事業に対し助成金の応募をいたします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申込者・団体名称 | | | 代表者氏名 | | |
| 住　　所　　〒 | | | | | |
| ＴＥＬ | | | ＦＡＸ | | |
| 該当項目　　１（歴　史） 　２（伝統芸能） 　　３（伝統工芸）　 　４（その他） | | | | | |
| 活動内容（活動の参考資料の添付をお願いします。団体の場合は収支報告書を必須とします。） | | | | | |
| 推薦事由 | | | | | |
| ご 推 薦  担 当 課 |  | ご担当者 | | 電　話 |  |
|  | | ＦＡＸ |  |

**令和5年度助成金募集要項**

**一般財団法人 丸高歴史文化財団**

　　財団法人 **丸高歴史文化財団** 設立趣意書

**株式会社 丸 高** は昭和２１年に創業、以来５０年間信頼を大切に、建設業を通じ地元の発展を考え取り組んでまいりました。創業５０周年を迎え、地域文化の向上に更なる貢献を致したいと考え、財団法人「丸高歴史文化財団」の設立をいたしました。

近年日本国内に於ける遺跡の発掘は三内丸山遺跡など、私達の既成概念を大きく覆す発見の連続であります。その生活の充実ぶりは驚きさえおぼえます。山形県内においても遊佐町の小山崎遺跡などは三千年の遺跡が眠っているとみられております。舟形町の西の前遺跡より出土した土偶はその均整のとれた形とすぐれた美感覚は祖先に対する誇りを覚えます。

この様な歴史の調査・研究に取り組んでいる方々や、各地に残っている是非後世に残したい伝統工芸の継承に携わっている方々、又貴重な伝統芸能の保存に頑張っている方々に、資金援助することにより、勇気づけ、光をあて、もって地域文化の向上発展に寄与することを目的として設立するものであります。

　　　　平成８年１１月吉日

**財団法人 丸高歴史文化財団**

**理事長　高 橋 幸 雄**

* 平成２６年４月１日、一般財団法人に移行いたしました。

なお、令和４年7月7日より、理事長に**高橋　剛**が就任しました。

**令和5年度募集要項**

応募資格　　　次の事項に取り組んでいる個人または団体

　　　　　　　１．歴史に関する調査、研究

　　　　　　　２．伝統芸能の保存

　　　　　　　３．伝統工芸の維持発展

　　　　　　　４．その他財団の目的を達成するに評価できる事項

（財団の目的）　当財団は、山形県内において、歴史の調査研究を行っている個人

　　　　　　　　若しくは団体、又は伝統文化の継承発展に寄与している個人若しく

　　　　　　　　は団体を支援し、もって山形県の文化の向上に寄与することを目的

　　　　　　　　とする

助成金額　　　一対象　　　　１００，０００円 ～ ２００，０００円

　　　　　　　総　額　　　　１，０００，０００円

募集方法　　　山形県を通じ山形県内各市町村文化財担当課より広く募集いた

します

申込方法　　　山形県内の各市町村文化財担当課で申込を受付いたします

提出書類　　　応募申込書（所定用紙----各市町村文化財担当課にあります。）

　　　　　　　　活動の参考資料を添付して下さい。団体の場合は、収支報告書の添付

を必須とします。

申込用紙は、https://[marutaka-net.com/zaidan/](http://www.marutaka-net.co.jp/zaidan/)からも印刷出来ます。

応募締切　　　令和５年１０月２０日

　　　　　　　（提出された書類はお返し出来ませんのでご了承願います）

選考方法　　　申込のあった個人・団体より、当財団理事会において活動等の

　　　　　　　選考基準に鑑み決定させていただきます

　　　　問い合わせ先　〒998-0012 酒田市下安町４１番地の１（株式会社丸高　内）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般財団法人 丸高歴史文化財団　事務局

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　℡ ０２３４－２５－２０１１